

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

ICT事業への注力と経営資源の選択と集中により、営業損失の縮小と営業キャッシュ・フロー改善を実現

営業損失
574百万円

営業キャッシュ・フロー
-187百万円

② 中長期の経営戦略

1. 電子契約サービス展開

「ベクターサイン」の料金プラン改訂により登録者数拡大を推進

3. 新規事業からの撤退

再生可能エネルギー事業等から撤退し、ICT事業に経営資源を集中

2. ポイントモール連携強化

スマートフォン専用PayPayポイントモール「QuickPoint」をハブとして機能させ、電子契約・ソフトウェア販売・インターネット関連事業を相互連携

③ 対処すべき課題

① 継続企業の前提に関する重要な疑義

- ・ 営業損失574百万円が発生している状況への対処
- ・ 営業キャッシュ・フロー187百万円のマイナスを改善する必要

② 収益基盤の拡充

- ・ ベクターサイン登録者数の拡大
- ・ QuickPointを中心としたサービス間の相互連携強化

面接で使えるポイント

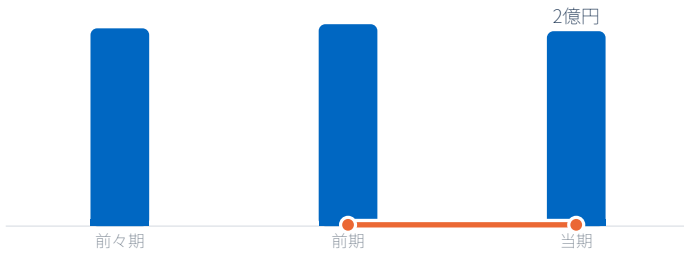
- ・ ICT事業への経営資源集中により、574百万円の営業損失を縮小する取り組み
- ・ ベクターサインとQuickPointの相互連携で収益基盤を拡充する戦略
- ・ 再生可能エネルギー事業からの撤退など、経営効率化の推進方針

株式会社ベクターホールディングス

小売業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 3月31日 | ...

証券コード 2656

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2億円

営業利益率
▲379.0%

財務健康度
38点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 46.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
627万円

小売業内 85位/318社

平均年齢
46.6歳

小売業内 65位/318社

平均勤続
9.1年

小売業内 190位/318社

女性管理職
25.0%

小売業内 48位/250社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ベクターホールディングス【2656】：決算情報

株式会社ベクターホールディングス 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

